

議会 ながいずみ

6月定例会

補正予算を可決……………2
ズバリ！町政を問う
9人が一般質問………4
まちかどインタビュー……16

楽しい水遊び
～北幼稚園～



QRコード

2015. 8.1
No.175



6月定例会は、6月8日から19日までの12日間で開かれました。
一般会計の補正予算や条例の一部改正など6議案、専決処分の承認3件を審議し、
全会一致で原案どおり全て可決・承認されました。

補正予算

6千582万円

臨時福祉給付金

3千785万円

質疑 26年度に実施した給付事業との違いは何か。
また、支給時期と方法は、**福祉保険課長** 前回は、1人当たりの給付額が1万円の場合と年金受給者で5千円の加算が付いた1万5千円の場合があった。今回は、年金受給者も含め6千円の定額である。

8月3日から申請の受付を開始する。審査・支給までに1カ月程度時間を要し、9月以降に口座へ振り込む。

介護保険費

315万円

質疑 介護保険事業特別会計繰出金315万円の算出根拠は。
長寿介護課長 低所得者の保険料軽減における26年度末の対象者1千50人に対する保険料の軽減分である。

臨時特例給付金

2千410万円

27年6月の児童手当受給者を対象に、1人当たり3千円を支給する。7月1日から申請の受付を開始し、10月以降に口座へ振り込む。

都市計画管理費

500万円

質疑 立地適正化計画の内容は。
建設計画課長 都市再生特別措置法が改正されたことで、コンパクトなまちづくりと公共交通のネットワークとの連携によるまちづくりのための計画で、今年度は、現況調査と課題の整理を行う。

生活道路等整備費

510万円

質疑 委託料の内容は。
建設計画課長 中土狩地先の町道交差点改良に関する用地調査などを行う。

商工振興推進費

500万円

質疑 工業用地開発可能性基本調査の具体的な場所は。
産業振興課長 下長窪地先の町道749号線と町道833号線から南へ約400m間のエリアで、主要地方道大岡元長窪線を挟んで東西の約10haを調査する。



イオン長泉周辺

6月定例会

条例の一部改正

長泉町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」が改正されたことに伴い、保育所の保育士数の算定を、准看護師も1人に限り保育士とみなすことができるように、条例の一部を改正する。

長泉町介護保険条例の一部を改正する条例

「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」により「介護保険法」の一部が改正されたことに伴い、低所得者の保険料軽減を行うため、条例の一部を改正する。

専決処分

長泉町税条例の一部を改正する条例

「地方税法」などの改正に伴い、町民税のふるさと納税の特例控除額の限度額、固定資産税、軽自動車税の税率引き上げ時期、たばこ税の特例税率の改正を行った。

長泉町国民健康保険条例の一部を改正する条例

「地方税法」などの改正に伴い、軽減対象となる世帯の軽減判定所得の基準額の改正を行った。

長泉町道

路線の認定

民間事業者が新たに建設した道路を、町が帰属を受け、町道840号線として新たに認定する。



建設文教委員会で現地調査を行い、確認した。

質疑 事業を運営するメリットと該当する施設は、**こども育成課長** 保育士不足を保健師、看護師、准看護師で補うことで、人材の確保と保育の必要な子どもの受入がしやすくなる。該当する保育事業は、小規模保育事業の一部と事業所内保育事業で、町内に該当する施設はない。

質疑 軽減後の保険料は2万6千400円となっているが、市町で保険料率を変えることは可能か。**長寿介護課長** 政令で軽減額は「10分の0.5を超えない範囲内において市町村が定める割合を減じて得た額」と定められており、最大である10分の0.5を適用した。

長泉町都市計画税条例の一部を改正する条例

「地方税法」などの改正に伴い、土地の負担調整措置などを原則として3年延長する改正などを行った。

ズバリ!

町政を問う

◆9人が一般質問◆

1 下山 和則 議員

1. 生活に密着した行政の取り組みは

2 杉森 賢二 議員

1. 歴史伝統郷土文化を愛する町を目指して
2. 行政と民間の連携を目的としたITの有効活用を
3. 環境にやさしいまちづくりを

3 下山 哲夫 議員

1. 新東名長泉沼津 IC 周辺土地利用構想を問う

4 小永井 康一 議員

1. 水道発電の研究を
2. 民生委員の現状と補助体制は
3. 法人ふるさと納税など新しい制度で財源確保を
4. 災害時の水供給と応急対応は

5 宮口 嘉隆 議員

1. 火葬場、決断前に住民へ説明、意向を問う用意は
2. 地方創生（美しいふじのくに、まち、ひと、しごと創生）への考え、柱は

6 大沼 正明 議員

1. 平成27年度長泉町地域防災計画第2章災害予防計画などを問う

7 井出 春彦 議員

1. 長泉町に住みたい、住み続けたい町づくりは

8 四方 義男 議員

1. 施策を深めるために

9 柏木 豊 議員

1. 町長の政治姿勢は

一般質問とは…議員が町長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針など諸問題について、報告や説明を求めたり質問することをいいます。



下山 和則 議員



交差点と歩道の延長改良を

Q 道路行政の取り組みは

A 道路を常に良好な状態に努める

道路管理と歩道整備は

問 日ごろ、維持管理に努めているが、取り組みと、改良が必要な対応は。

工事管理課長 定期的なパトロールを実施し、道路が常に良好な状態を保つよう努めている。

問 交通安全上、改良を必要とする交差点の把握と改良状況は。

建設計画課長 中土狩地先の交差点など5カ所を把握している。そのうち4カ所は整備中である。今後も、歩行者が安全・安心に通行できる整備を進める。

問 下長窪地先、町道上長窪八反田線の交差点と歩道の整備計画は。

課長 交差点部に滞留場所はあるが、歩道は未設置である。この区間は、既に沿道の土地利用が一部はかられているため、歩道の整備は行えない状況である。

問 この場所は交通安全上、改良が必要である。整備できないか。

都市環境部長 10年間で約5kmの歩道付きの道路整備を行った。他にも改良が必要な箇所は多くある。町全体を考慮したなかで、優先順位の高いものから進めていく。

Q 新オレンジプランの推進は

A 今後も事業の充実に努めていく

認知症対策は

問 理解を深めるための普及、啓発の現状は。

長寿介護課長 正しい知識を広め、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりの推進を目的として、認知症サポーター養成講

座を実施し、26年度末で、延べ受講者は1千253人である。

問 介護者への支援策の現状と対応は。

課長 徘徊高齢者探索サービス事業や在宅で要介護高齢者を介護している家族向けのリフレッシュ事業を行っている。

問 高齢者にやさしい地域づくりの推進は。

課長 高齢者が家庭や地域で、安心して暮らせるよう、保健、医療、福祉などの連携強化を進め、高齢者支援など各事業の充実をはかっている。

ど、町独自の事業展開は。

住民福祉部長 今年度、認知症予防教室や認知症ケア相談会などを実施する。今後も、町の実情にあった個性ある事業を研究していく。

問 病気の進行を抑える方策として、芸術鑑賞な

その他の質問 ニュースポーツの普及と取り組み



地域経済分析システム「リーサス」の供用を開始



杉森 賢二 議員

Q 環境にやさしいまちづくりを

A 民間と連携して小水力発電普及に取り組む

地球温暖化対策は

問 CO₂削減における町の取り組みの考えは。

都市環境部長 行政活動により排出されるCO₂を、30年度に24年度レベルから5%削減を目指している。26年度は、施設全体で3.6%、役場庁舎などの事務所10.8%、ごみ焼却場0.8%削減できた。今後も目標達成に向け取り組んでいく。

問 防犯灯の100%LED化の考えは。

地域防災課長 26年度末で30.4%をLED化した。今後5年間で、100%LED化に向けて計

新エネルギー活用は

問 民間と連携した農業用水路、水道管、貯水池、砂防えん堤を活用した小水力発電設置の考えは。

都市環境部長 農業や水道など事業本来の目的を妨げる要因がなく、実施

が見込めるなら、民間企業と連携して小水力発電の普及に取り組んでいく。

問 エコパーク設置に向け模型展示などの考えは。

くらし環境課長 常設設置は考えていないが、機会を捉えて情報を発信し、見学会や学習会など各種イベントを行っていく。

Q 行政民間連携を目的としたITの有効活用を

A まちの魅力を積極的に発信していきたい

国、県との連携は

問 地域経済分析システム「リーサス」活用の見解は。

企画財政課長 これまで

にないビックデータを集約し、地域経済の見える化がはかられた非常に優れたシステムと認識して

いる。産業面では、どの産業が付加価値や雇用を多く生み出す産業か、人口面からは、今後のインフラ整備や医療福祉教育施策などの必要な規模のほか、現実的かつ効果的な人口流出防止策の検討など、地方版総合戦略の策定に役立てたい。

問 県が行っているオープンデータの活用と、町の計画は。

課長 「住民向け地図情報システム」の構築に取り組んでいるところで、町が保有する地図情報に都市計画図や道路台帳、AED設置場所などを住民に公開するシステム構築を進めており、オープ

ンデータの掲載が可能なものは、広く二次的な利用を促すよう取り組みたい。

その他の質問

歴史・伝統・文化を愛する町を目指して



下山 哲夫 議員



さらなる土地利用が望まれる地域

Q

進めたい新東名IC周辺土地利用構想を

A

検討会で土地利用構想(案)を策定した

土地利用構想検討会の土地利用計画は

問 県・沼津市・長泉町による東名・新東名IC周辺土地利用検討会での検討結果は。

総務部長 25年9月に設置した検討会では、新東名長泉沼津IC周辺の沼津市132ha、長泉町78ha、計210haの両市町にまたがる区域を対象に、両市町が描く将来の土地利用を踏まえ、当区域に導入が期待される機能、保全すべき農地、業務区域などのゾーニングの検討を行い、本年3月に土地利用構想(案)を策定した。

問 物流に限らず先端産業などの企業の将来的立地の可能性は。

部長 将来の土地利用を

イメージした本土地利用構想(案)の概要は、保全すべき農地などを「農地・森林保全エリア」、土地利用を推進する区域を「都市的土地利用推進エリア」としている。このエリアのうち「物流・地域振興系工業ゾーン」は、市街化区域との連続性や、現況の森林などの自然環境を考慮し、景観に配慮した都市的土地利用を進める、物流加工や地域振興に資する業種の将来的な立地が可能な位置づけである。

問 大半が農業振興地域であるが、農業振興地域から除外する考えは。

産業振興課長 農業振興地域のままでの開発はできない。進出企業を含め、開発の具体的な方向が定まった段階で、農業振興

地域整備計画の変更の法的手続きを進める。構想の段階で先行して除外を行うことはない。

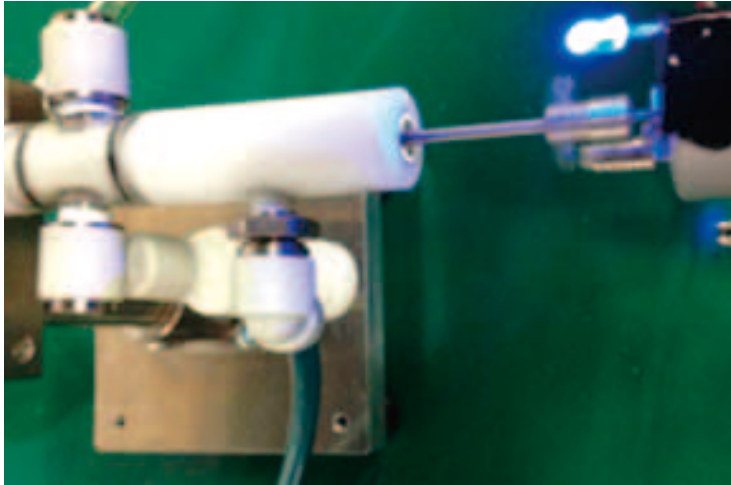
問 当該地域における排水の考えは。

都市環境部長 この地域は基盤整備を行わずに、県道大岡元長窪線を整備したため、基本的に排水施設はない。補正予算を計上し、排水経路を含めどのような基盤整備が必要なのか、開発可能性調査を実施する。

問 総合特区は進展が無ければ5年間で消滅する流れに沿って期間を短縮しないと企業は待ちきれない。特区が切れた場合の構想は。

総務部長 内陸のフロンティアを拓く取り組みは25年2月に「地域活性化

総合特区」の指定を受け、物流関連産業等集積区域とし、先導的な地域づくりモデルを創出する区域を目指している。この総合特区の指定期間が終了しても、基本構想(案)は消滅せず、おおむね10年を見据え、事業の進捗をはかる。



蛇口発電装置



小永井 康一 議員

Q 新技術による水道発電研究推進を

A 情報収集をし、注視していく

再生可能エネルギー

問 町内のソーラー発電状況は。

くらし環境課長 町内7カ所の町有施設で年間14万4千kw。すべて施設で電力を消費している。

上下水道課長 緊急遮断弁を作動させるバッテリー

ー用に小規模のソーラーパネルを使用している。新たに造る水道施設でソーラーパネルを検討したが、費用対効果が見込めないことから設置しないこととした。

力の発電モーターの存在は承知している。他事業体の導入実績などを注視し、情報収集していく。

災害時の応急給水

問 災害時の湧水活用は。
総務部長 災害時の応急給水計画で最小限の飲料水供給体制を整備してお

問 災害時、町内の給水区域外への給水は。
部長 内外を問わず町民の生命維持を第一に考え、給水活動を実施する。

Q 「法人ふるさと納税」で財源の確保を

A 条件を整え、広告収入増を研究する

法人ふるさと納税

問 ふるさと納税の現状は。

企画財政課長 寄附者が寄附金使途をメニュー選択できるようになっていく。今年度新たに「花のあふれる町づくり」のメニューを新設する。

問 積極的な広告収入を。課長 既にホームページのバナー広告などの広告事業に取り組んでいる。行政改革プランでも広告媒体拡充の検討をしている。広告収入で施設の維持管理費をまかなうことができる。非常に望ましい。規模の大きな広告や命名権は掲載基準や審査

その他の質問
民生委員を補助するための新制度の検討を

問 法人ふるさと納税の推進を。
総務部長 法人のふるさと納税は特定寄附金に該当する。広告収入として別の枠組みで検討する。



宮口 嘉隆 議員



幼児の遊び場を

Q 火葬場、決断前に町民に問う用意は

A 町民代表や議会の案を基に、最終判断をする

火葬場の経過

り込まれた案と認識している。

と捉えているのか。

問 裾野市との広域運営・現地建て替え、この2案に絞った根拠は。

町長 町民代表の検討委員会の裾野市との共同設置案、議会の現施設地の整備案、この2案が、多くの選択肢の中から、絞

問 現施設は調査当時と状況が変わった。裾野市との共同調査と並行して現地建て替えの再調査も同時に必要ではないか。

町長 共同調査は、共同設置に関する両市町の報告書の相違点を中心に取

りまとめる。現在地整備は、現報告書を比較の判断材料とすることで問題ない。

町民への報告は

問 最終決断前に、その旨を町民に説明する機会が必要では。議会・有識者委員会を全住民の意向

と捉えているのか。
町長 この2案は、町民の声を十分に反映したものと重く受け止めている。改めて町民の声は求めない。町民に整備の判断を委ねるのでなく、十分な検討材料に基づき、将来を見据えて、町長として、私が最終判断をする。

Q コミセン北側、幼児が遊べる公園広場に

A 図書館に合った空間を考えていく

子どもに支援を

問 子どもの転入転出の状況と、見解は。

子ども育成課長 26年度の0～14歳は、70人の転出超過であるが、出生数の増加により、全体総数は増えている。

問 医療費助成の状況と、これからの見解は。

課長 未就学児分約12億円、小中学生分約1.2億円。今後、現制度を継続実施していく。

教育部長 私立幼稚園の認定こども園への移行と民間による新たな認可保育所の開設を支援し、増加する待機児童の解消に努める。

場に。
副町長 図書館空間に合った緑化が可能か検討する。

その他の質問

コミバス・高齢者支援への見解

問 新制度では、認可外保育所への通所も待機児童となる。幼稚園・保育園への対応は。

問 幼児の遊び場が少ない。コミセン北側エントランスを、町の玄関らしく遊び場を兼ねた公園広



災害ボランティア本部立上訓練



大沼 正明 議員

Q

本年度の災害予防計画などを伺う

A

防災と福祉で連携し啓発する

今年、新たに加わった計画などは

問 職員に対して実施している防災教育は。

地域防災課長 発災当初における職員の役割は重要で多岐にわたるため、

毎年のオペレーション訓練で、役割に応じた研修や訓練を実施している。また総合防災訓練では、

地域との連携や実践訓練を実施している。今後も職員の資質向上に努める。

問 広域避難所でのペットの対応は。またペットフードの備蓄予定は。

課長 現在、県東部保健所の担当者と協議している。今後は、当町の避難所でのペット対策マニュアル策定と平常時における飼い主への周知啓発活動を県と協調しながら進

める。なお、ペットフードの備蓄は考えていない。飼い主に最低5日分の備蓄を啓発していく。

問 地域防災対策委員の充足率と課題は。

総務部長 地域防災対策委員設置規則では定数15人以内と定めている。現在委嘱している委員は7人で充足率は46%のため、引き続き同委員の増員に取り組みたい。

問 自主防災会と消防団の連携や交流に、消防団退団者を。

課長 消防団退団者は、自主防災活動の即戦力である。また、女性の視点を取り入れた防災対策には女性消防団退団者が貴重な人材であると認識している。退団者には、積極的に自主防災会活動に

参加していただけるよう依頼していきたい。

問 災害時に活躍するボランティアコーディネーターの数と養成講座の実施は。

住民福祉部長 町社会福祉協議会が所管する「災害ボランティアネットワーク長泉」の会員の中に14人のコーディネーターがいる。養成講座は町単独開催ではなく、広域で開催できるように、地域防災課、町社会福祉協議会と協議を進める。

問 今回から地域防災計画で要援護者支援が要配慮者支援になった。要配慮者支援としてユニバーサルマナーの講座や研修を。

部長 ユニバーサルマナーは、自分とは違う誰か

のことを思いやり、適切な理解のもとに行動することであり、国籍、年齢、性別や障がいの有無を問わず全ての方が対象となる中、高齢者や障がい者を対象に講座などを開催している。今後も、当事者支援だけでなく、当事者を取り巻く環境への働きかけとなる各種講座や研修を実施することで、福祉の視点からユニバーサルマナーの普及に繋げたい。

問 健康公園の防災上の位置づけは。

総務部長 長泉中央グラウンドは自衛隊の集結地、災害時の拠点ヘリポートと位置づけている。



井出 春彦 議員



竹粉碎機を活用した竹林整備

Q

第4次総合計画の中間目標の達成状況は

A

現行の事業計画で進んでいく

大規模災害の対策

問 防災倉庫の数は。

地域防災課長 現在、24基で、目標比90%の達成率である。今年度、老朽化した長泉中防災倉庫の建て替えを予定している。

問 火山噴火の対策は。

課長 国・県と周辺市町村による広域で、富士山噴火に対する防災体制に取り組んでいる。

問 消防の広域化で各種団体との災害協定は。

消防長 大規模災害時や特殊災害時などにおける応援協定は、消防組織法に基づき締結し、応援・受援体制を整えている。広域化を検討する上でも重要項目として対応する。

問 消防団の装備は。

消防長 機械化や軽量化により団員の負担軽減をはかっている。今年度は、通信機器・夜間照明器具などの整備を行う。

歩道の安全対策

問 歩道整備の状況は。

工事管理課長 歩行者空間整備事業や大いちょう通りの整備事業により改修を進め、歩行者の安全確保をはかっている。

問 歩道のバリアフリー化の状況は。

課長 町道上長窪元長窪線の床版工事、町道狹素中土狩線歩道の拡幅工事、町道256号線の床版工事など、引き続き改修可能な箇所から取り組む。

公園広場の整備

問 元長窪広場に砂場・時計の設置は。

工事管理課長 砂場は小動物などによる糞害があること、時計は維持管理上の諸問題などから、設置は考えていない。

問 元長窪広場の東側に芝生広場・パークゴルフ場の整備は。

建設計画課長 上部の新東名で事故などが発生した場合、破片が落下する危険性があり、落下物の対策工事に莫大な費用が掛かるため、設置は考えていない。

農業の諸状況

問 地域ブランド商品認定目標5件の現状は。

産業振興課長 県を代表する特産物として、7点が認定されている。今後引き続き進めていく。

問 竹粉碎機を購入し、貸し出す考えは。

都市環境部長 課題を整理し、可能ならば、来年度に導入したい。

区の活動

問 月2回発行の広報誌を月1回に出来ないか。

行政課長 月1回に減らすと掲載できない情報が増え、行政・各種団体の活動などに支障をきたすことが懸念される。当面は月2回の発行を継続する。

※床版工事…蓋のない道路側溝にコンクリート版の蓋を設置して、段差や隙間をなくし、歩行者の歩くスペースを拡げる工事のこと。



人も自転車も安全な道路環境整備を



四方 義男 議員

Q 町も若年性認知症対策の取り組みを

A 健康関連事業で啓発や医師会との連携も

啓発、予防、治療と町ができる対応を

問 県も若年性認知症の調査を始め、マスコミ報道でも多く取り上げられるようになった。この若年性認知症の疾病予防や、治療可能な疾病への取り組みに向けてさらなる指導と啓発を。

長寿介護課長 町は、国保被保険者に特定健診や特定保健指導を実施し、脳血管疾患を含めた生活習慣病予防に取り組んでいる。若年性認知症は、早期発見・早期治療が重要である。成人保健事業や地域健康づくり事業などと連携し、啓発をはかる。

問 認知症になった人が安心して暮らせる地域社会構築のため、支援体制づくりに取り組もうと、大手製薬会社などと連携協定を結ぶ近隣自治体もある。当町も支援体制づくりのために、このような連携を取り入れる考えはないか。

住民福祉部長 県内では、2つの自治体が大手製薬会社や医師会と認知症に関する啓発や情報提供などで協定を結んでいる。医師会は、沼津市・裾野市・清水町を含めた沼津医師会となるので、具体的な連携内容や方法を今後、検討していきたい。

Q 改正道路交通法の施行を機会に

A 新たな啓発事業や道路環境整備に取り組む

改正による取り組みは

問 町の交通安全教育の中で、小学生・中学生・高校生・一般市民に対してどのような事業を行っているのか。

地域防災課長 安全な自転車運転を目指し、小学生には、安全な自転車の

乗り方教室や自転車運転免許証の交付事業を実施している。中学生には、学科・実技の交通安全教室を実施し、一般市民には、交通安全意識の高揚をはかるために、交通安全イベントの開催や街頭啓発活動などを行っている。

問 自転車で交通違反を繰り返した14歳以上に講習の義務化と、未受講者に罰金が科せられる。この機会に、広報や啓発活動と交通環境整備を。

総務部長 今回の改正では、特に中高生の自転車マナー向上を目的として事業を裾野警察署、沼津警察署、学校とも連携し

ながら展開する。また、高齢者も含め、あらゆる機会に新制度の周知に努め、わかりやすい道路標示をするなど、環境整備に取り組んでいく。

その他の質問
ごみの不法投棄のさらなる改善を



柏木 豊 議員



旧温水プール跡地

Q

町重要課題に対する町長の取り組み姿勢は

A

4K中心に住民満足度を上げていく

町予算執行と組織体制

問 一般会計決算でここ数年、形式収支が10億円近い黒字であり、また、繰越事業も多く、効果的予算執行ができていない町の認識や組織としての対策は。

町長 税金などの貴重な財源を迅速に有効な行政サービスとして還元することは行政の基本である。適正な予算執行に向けた指揮監督を行っているが、まだ十分ではないため、歳入を的確に把握したうえで、事業進捗状況を随時確認し、適正な予算執行に努める。

都市計画道路整備の促進と土地利用

問 県施行の沼津三島線の整備は、着手から19年が経過し大幅に遅れているが、県との協議は。

町長 県、県議会議員などに働きかけ、理解を得ている。用地取得が重要であり、町も県に協力し、最大限努力する。

問 池田柵線の整備が進む中、沿線の旧温水プール跡地の土地利用をどのように進めていくか。

町長 周辺民有地も活用させていただき、地域活性化のため「子ども関連複合施設と飲食を中心とした商業店舗併設」を基本に、官民連携手法での整備を進めていく。

パークゴルフ場

問 整備の考えは。

町長 用地問題もあるため、多方面から情報収集し、設置に向け研究する。

地方創生

問 実現のための具体的な施策は。

町長 現在取り組んでいる総合計画後期基本計画の策定に合わせ、多くの皆さんから意見をいただき、住民満足度向上に結びつく効果的な具体的施策を展開していく。

内陸フロンティア

問 基盤整備事業の基本計画を早急に示していくべきでは。

町長 区域内の下長窪水穴地区の開発可能性調査を実施し、排水などの基盤施設の整備や整備手法を含む基本計画を作成した段階で、地元地権者の理解を得ながら事業化に向けて進めていきたい。

消防の広域化

問 体制の考えは。

町長 生活圏域を共にする地域で進め、関係する住民に有効で効果のある消防サービスの提供が可能な広域体制を進める。

総務民生委員会 5月13日～15日

めざせ！「救急の絆」
世界一のまち事業

～京都府福知山市

救急車が到着するまでの間に応急手当が実施されれば「助かるはずの命」もあることから、市内のどこでも誰かが必ず助けることができる街を目指し、市民救命士養成講座受講者を増やすことを目的とした事業。



ひめじ防災プラザ

～兵庫県姫路市



「防災情報ゾーン」「災害体験ゾーン」「防災体験ゾーン」の3つのゾーンで構成され、日常では体験できない数々の災害現象を再現し、「災害のメカニズムと怖さ」が体験できる。その他、最新鋭の高機能消防指令システムを見学した。



公共施設保守
点検の一括契約

～香川県
まんのう町

まんのう町内には63の公共施設があり、それぞれが施設管理業務委託契約を結んでいたが、一括で契約をすることで、業務の効率化・経費削減につながった。また、職員の業務量も削減することができた。

常任委員会視察研修

先進地に学ぶ

建設文教委員会 5月20日～22日

子育てふれあい
センター

～北海道白老町

「白老町次世代育成支援行動計画」に基づき、子育て支援事業の推進と体制の充実をはかるため、19年4月に子育てふれあいセンターを設置した。町は、「つどい広場」と「ファミリー・サポート・センター」の2事業を委託している。



美しい景観・
食のブランドづくり

～北海道長沼町



6次産業化

～北海道余市町

知見のアドバイザー、住民代表のワークショップ、庁内策定委員会などの作業を経て、「美しい景観づくり計画」を策定した。長沼町内を3区分に分け、それぞれの区分の中で建築物などに関する独自の規制基準を定めている。また、長沼町の知名度を上げるために「農業と食」を通じてさまざまな取り組みをプロデュースしている。

地域の資源に付加価値を見出し、「余市ブランド」として既存の活動との連携及び新製品の研究・開発を行い、町経済の活性化をはかっている。特産品を通じて「余市」のイメージアップをはかり、町外からの人を呼び込み、観光産業の強化をはかっている。



期待しています

私の要望・意見

全国でも空き家は問題になっていきますね。税金の違いで空き家を更地にするのが高くなってしまっているので空き家のままだと知った。倒れ掛かっているのは危険なので、取り壊した方が良く、まだ住める物件はもったいない、住宅を有効に使うためにどうするかこれからの課題ですね。

(50代 女性)

町内に元気な高齢者が多いのは介護予防に向けての町内独自の取り組みの結果と考えています。しかし、地域包括支援センターが役場内一カ所だけしかない現状です。移動手段に困る高齢者が多いと思われるため、より身近な存在となるようお願いします。

(40代 女性)

今年度の予算が示された。税金を使っている以上、しっかりと計画を実施を行い、限られた予算を柔軟に使用して欲しいと感じた。

(20代 男性)

なめり駅東口の駐輪場スペースが足りていない。歩道に停めてあるので危険です。駐輪場の確保など対策を求めます。

(60代 男性)

マイナンバー制実施に伴う町としてのセキュリティ対策状況を検証していただきたい。

(60代 男性)

昔の梅の木沢川は、カニ、カジカ、ヤマメ類が数多く確認。今後、梅の木沢川の水質改善をはかり、工場排水の排出抑制を事業所へ粘り強く指導を期待します。美しい長泉町へ。

(70代 男性)

子どものサッカーの練習や試合で使用させて頂いている竹原グラウンドは、とても運動しやすいすばらしいグラウンドですが、いつも駐車場の少なさに嘆いていました。改修工事の記事が載っていたので、利用しやすい駐車場の完成を期待しています。

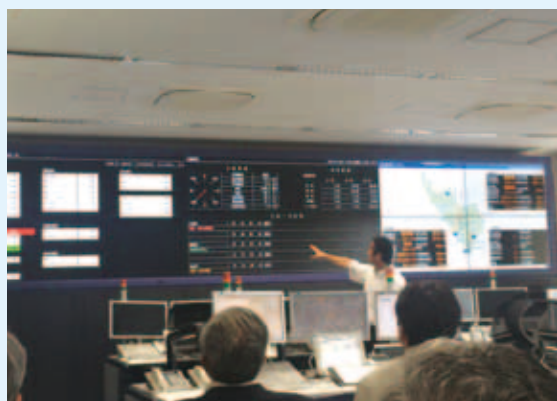
(40代 女性)

会議録もご覧下さい!

議会ながいずみでは、紙面の都合により内容を要約してあります。質疑・答弁の詳細は会議録に詳しく掲載されていますので、ぜひご覧ください。会議録は町民図書館・役場行政課・議会事務局にあります。また、町のホームページでもご覧いただけます。

※27年3月定例会分まで掲載されています。

**9月定例会は
8月31日(月)に開会予定です**



消防指令センター を視察

三島市消防本部の敷地内に建設された、「三島市、裾野市及び長泉町消防指令センター」を視察しました。119番通報の運用開始日を10月6日の予定とし、切り替えなどの整備を進めています。

まちかどインタビュー

中学生の声



長泉中学校3年の
加藤稜麻さんにお話を伺いました。

僕は今、生徒会役員です。現在、気持ちよく1日がスタートできるように挨拶の活性化を行っています。1つの目標に向かって学校全体をまとめていく事は、とても大変だと感じています。議員さんは、活動内容を実行するにあたり、議員同士の意見のぶつかり合いや、関係する人たちとの問題などをもどのように乗り越えているのでしょうか。また、僕は生徒800人程度の人数をまとめるにも大変なのに、約4万人の町民のために議員一人一人、

どのように協力し合っているのでしょうか。嫌になることはないのでしょうか。きっといろいろあるかと思いますが、誰かがやらなくては良くなってしまうので、町民のために日々努力してくださっている議員さんたちのように、僕たちも努力をしていきたいと思っています。

そして、1つの提案があります。長泉町は住みやすい町と言われていますが、僕たちには実感がありません。そこで、「見た目で解る長泉町の良さ」として、例えば、季節ごと決まった花が至る所に見られるなど、どうでしょうか。

貴重なご意見ありがとうございました。今回は、中学生の目線に立った意見を伺いました。

わが町 たんけんクイズ

ここはどこ
でしょう?

Vol.113



「第2浄〇場」

ヒント…水道水は、ここから配られます。

町内にある施設の名前を出題します。〇の中に入る言葉をお答えください。正解者の中から抽選で10人の方に図書カードを贈呈します。

応募方法

●はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、議会ながいずみの感想を書いてお送りください（お寄せいただいたご意見は紙面で紹介させていただきます。場合があります）。

※メ切は8月31日（月）消印有効です。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

●宛先

〒411-8668
長泉町中土狩 828 番地
長泉町議会
広報広聴委員会

前回の正解は

「分」でした。

（応募総数22通）

編集後記

6月議会から議場に国旗と町旗が設置されました（2～3ページ写真掲載）。各議員が他市町の視察をする中で、今回実現しました。これからも住民の思いを深く受け止めて建設的な議論の場として努力を重ねてまいります。9月定例会は8月31日から開会します。住民の皆さまの傍聴をお待ちしております。

175号を最後に、このメンバーでの編集は終了します。今までのご愛読に深く感謝いたします。

●発行責任者

議長 溝口伊佐雄

●広報広聴委員会

委員長	山田 勝
副委員長	宮口 嘉隆
委員	栗原 睦明
〃	下山 哲夫
〃	大沼 正明
〃	小永井康一
〃	杉森 賢二